

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立武田の杜保健休養林	所管課	森林環境部 県有林課
所在地	甲府市山宮町片山3371 外	設置年月日 (改築年月日等)	昭和54年3月14日
指定管理者	山梨県造園建設業協同組合		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立武田の杜保健休養林設置及び管理条例		
設置目的	青少年その他の県民に自然に親しむ環境を提供することにより、健康の増進及び豊かな情操のかん養を図るため設置する。		
主な施設内容 (定員等)	面積:2,500ha 主な施設 健康の森:サービスセンター352㎡、森林学習展示館88㎡、展望休憩室15㎡、 キャンプ場ログキャビン3棟、癒しの小径10.9km等 樹木見本園:休憩舎21㎡等 幹線遊歩道:遊歩道23.6km、展望休憩舎3棟等 鳥獣センター:管理棟369㎡、展示館210㎡等		
主な業務内容	○キャンプ場利用の承認に関する業務 ○施設等の維持保全に関する業務 ○森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 ○鳥獣に関する知識の普及のための催しの実施及び鳥獣の保護に関する業務 ○自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会の提供に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	○山梨県立県民の森保健休養施設(森林科学館、展望台、あずま屋等) ○山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等)
---------------------	--

## 3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	利用者数	86,716	94,832	99,326	
	利用者数合計	86,716	94,832	99,326	
	目標値	90,000	87,289	88,161	89,042
	目標値設定の考え方及びその理由	H21～H25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の19%増)	H26～H30年の指定管理者提案内容 (H23実績値の1%増)	H26～H30年の指定管理者提案内容 (前年度目標値の1%増)	H26～30年の指定管理者提案内容 (前年度目標値の1%増)
	対25年度比	-	109.4%	114.5%	102.7%
利用率(利用者)		283人/日	303人/日	313人/日	284人/日
利用率(ログキャビン)		45.2%	45.5%	59.0%	60.0%

## 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	646,500	639,000	823,110	720,000
	指定管理者委託料	41,509,000	41,509,000	41,509,000	41,508,000
	その他	527,443	530,000	648,701	530,000
	収入合計(A)	42,682,943	42,678,000	42,980,811	42,758,000
支出	人件費	24,494,861	25,233,400	24,991,487	25,233,400
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	18,784,649	17,444,600	17,527,647	17,524,600
	うち外部委託費(B)	5,152,056	4,300,000	4,927,250	4,605,000
	支出合計(C)	43,279,510	42,678,000	42,519,134	42,758,000
収支差額(A-C)		△ 596,567	0	461,677	0
外部委託比率(B÷C)		11.9%	10.1%	11.6%	10.8%
利用者一人当たりの経費		437.7	470.8	417.9	466.2

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答数:445人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①整備・施設状況	69.0%	30.3%	0.7%	0.0%
②開園日、開園時間	70.0%	26.0%	3.0%	1.0%
③スタッフの対応	85.4%	13.9%	0.7%	0.0%
④プログラムの内容	67.7%	30.2%	1.4%	0.7%
⑤申し込み方法	74.1%	24.7%	1.2%	0.0%
⑥学習展示館の展示内容	54.3%	42.9%	1.9%	0.9%
⑦施設全般の満足度	71.2%	27.9%	0.7%	0.2%

利用者の意見	森の癒し効果を体験でき満足できたとの回答が多くを占めた。 改善を求めるものとして、PRをもっと積極的に行うべきという周知に係る意見があった。
利用者の意見への対応	森林セラピーの効果が満足度の高さにもつながっており、今後も積極的に推進していく。周知活動については、ホームページ、ちらし配付等によるPRのほかに、SNSによる情報発信にも取り組むこととしている。

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	枯損木、倒木や、スズメバチの巣の処理等を迅速に行い、利用者の安全確保に努めた。遊歩道や施設周辺については、特にきめ細かいパトロールを行った。	業務計画書に基づき、施設の維持管理が適正に実施されている。また、スズメバチへの対応など利用者の安全対策にも迅速に対応している。
運営業務	森林セラピーを実施し、自然に関する事業、PRに努めたほか、HPの充実、年間予定表をJR駅構内等に配置し周知にも努めた。	業務計画書に基づいた計画的な主催事業の実施や、森林セラピーの取り組み等、利用者確保とサービス向上に努め、評価できる。
利用状況	森林セラピー基地のPR活動により、利用者も増加した。またデイサービスや授産施設の利用の増加や、婦人グループや年配者のウォーキングやバードウォッチングなどの利用も多い。さらに、キャンプ場の受け入れ時間を早めたり、無料WiFiの設置など、利用者の利便性向上に努めた。	森林セラピー基地のPR活動や、他の協賛事業、自主事業も併せて力を入れ、利用者の増加を果たしたことは評価できる。
収支状況	施設の利便性向上に努め、利用者の増加につながり、収入増となった。また、光熱費等の節減により収支改善を図り、委託料の範囲内の収支に収めることができた。	キャンプ場施設を中心に利用者の利便性向上が図られ、収支改善となったことは評価できる。
自主事業	武田の杜トレイルランニングレースのほか、ツリークライミング、ナイトツアー、トレッキングツアー等を実施し参加者から好評を得た。	集客力のある自主事業を開催しており、利用者増加に向けた積極的な取り組みは評価できる。
利用者満足度	施設の特性を活かしたイベントの開催等により、多くの利用者から高い評価をいただくことができた。	各項目において「たいへん満足・どちらかといえば満足」の比率が約99%と非常に高く、利用者サービスに努めた結果が現れており、評価できる。
運営目標の達成状況	○H27 利用者数 目標値 88,161人 → 実績値 99,326人 目標値に対し約113%の利用者があり、目標を達成した。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	森林セラピーの取り組みを核とし、主催、自主事業を積極的に実施したことで、利用者数の目標値を上回る成果をあげた。また、利用者満足度も良好で、利用者サービスにも十分努めた結果が現れており、指定管理業務は適正に行われたと評価できる。 指導事項:利用者への安全対策の徹底	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	枯損木、倒木等の危険箇所の重点的なパトロールの実施と、ハチ刺され対策として駆除用スプレーの配備を行った。	

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

